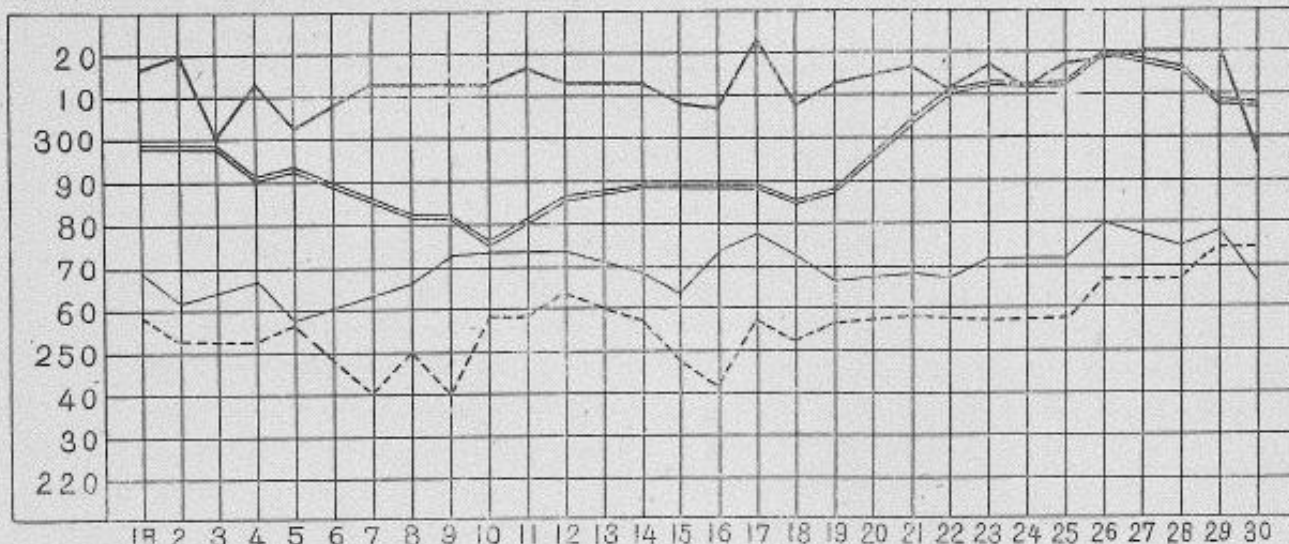


# 経済市況

三十四年九月の京阪神地方の経済動行は次のようであつた。

## 肉 畜 市 況 月 報 (34年9月)

(凡例)  
 ———— めすき } 中値 (大阪食肉市場)  
 ———— ぬき }  
 - - - - - おす }  
 (旺当円) ———— 豚 }



	団体名	頭数	平均単価	枝肉重量	売上金額				摘要		
					枝肉	原皮	内ぞう	計			
共同出荷実績	県畜連	めす	1	314	219.3	68,860	5,700	3,500	78,060	中央畜産KK	
		ぬき	11	295	2,324.1	685,220	61,100	37,190	783,510		
		おす	1	248	150.7	37,370	5,700	2,000	45,070		
		豚	11	278	611.0	169,840	-	1,550	174,720		
	経済連	めす	6	265	1,070.0	283,413	32,500	17,131	333,044	"	
		おす	4	234	404.4	94,629	15,400	2,500	112,529		
		豚	78	294	4,028.9	1,185,927	-	32,230	1,218,157		徳島ハムKK
		豊国農協	"	20	294	925.8	271,940	-	7,390		279,330
	津山農協	"	12	319	814.2	259,930	-	6,510	266,440	"	
	朝鮮人農	"	42	317	2,911.8	922,940	-	23,290	946,230	"	
高粱畜連	めす	4	288	781.7	225,100	5,500	12,510	243,110	大阪畜産KK		
総社市組	豚	20	292	1,277.2	372,860	-	6,760	379,620	"		
平均価格		34年9月	33年9月		牛	4,104頭					
	めす	円	円	と殺頭数	仔牛	635					
	ぬき	270	256		豚	8,063					
	おす	256	235		馬	163					
	豚	297	224		めん羊						

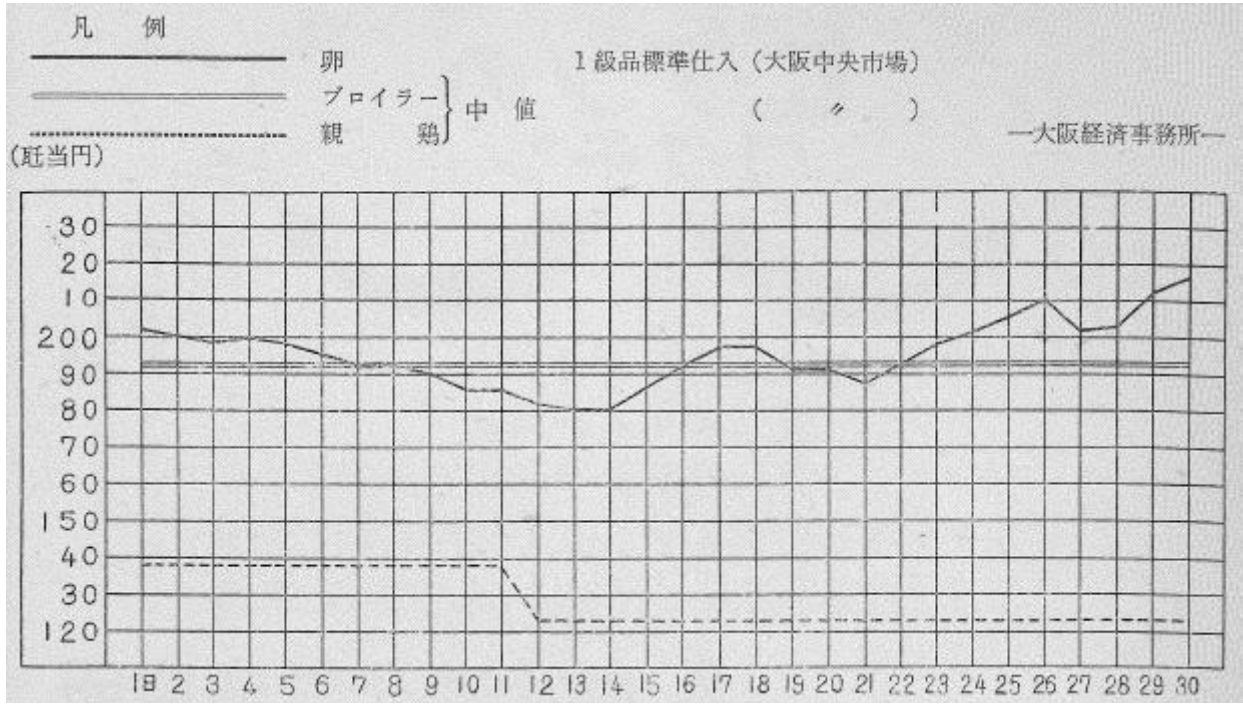
岡山畜産便り1959.11・12

(概況)

牛の相場は8月より僅かに入荷が減少したが保合っており、前年同期に比べれば、めすにおいてkg 6円、ぬき14円、おす21円高で堅調相場を継続しておる。

豚は8月より入荷が2,000頭近く減少し、相場は月初め中物kg298円から下げ始めて、9月10日には275円までとなったが、以後又上げに転じて26日にはkg320円の大相場をつけるにいたった。9月下旬の相場は8月下旬の大相場を一段と上廻るもので、昨今の豚の需要の旺盛さを如実に物語っている。月間平均相場もkg297円で8月より6円高、前年同期(224円)より実に73円高で、まさしくブームの状況を呈している。10月に入っても依然として315円がらみの相場が続いておる。豚の消費は毎年2割方増大しているが、昨今は4割近い伸びを示しておると云われる。

鶏卵鶏肉市況月報(34年9月)



平均価格(kg当)	34年9月		33年9月		阪神地区 入荷推定数量	1級品標準仕入(大阪中央市場)			共同出荷実績	1級品標準仕入(大阪中央市場)		
	卵	ブロイラー	親鶏	卵		ブロイラー	親鶏	卵		ブロイラー	親鶏	
	円	円	円	円		kg	羽	羽		kg	羽	羽
卵	196	205	205	205	岡山	720,000	3,000	30,000	経済連	359,229	-	-
ブロイラー	193	261	261	261	香川	600,000	25,000	53,000	養鶏連	23,000	-	-
親鶏	132	121	121	121	大阪	1,050,000	40,000	86,000	西大寺	8,300	-	-
					その他	1,150,000	60,000	140,000	美作	27,300	-	-
					計	3,520,000	128,000	309,000	計	417,829	-	-

(概況)

鶏卵…例年9月は春びなが産卵を開始し、気温も低くなってくるので、古鶏も8月より産卵が向上し、市場への出荷量が増える時期にあたるから卵価は8月より安いのが通例であるが、本年もこの例にもれず月間平均相場はkg196円で、8月の218円より22円安であった。昨年は近年にない卵価安の年であったが、その昨年同期が205円であるので、昨年より9円安と全く冴えない市況であった。香港向輸出も当初の期待程伸びず8月より僅かに7,000ケース増の21,000ケースに過ぎなかった。10月に入ってから215円がらみの相場が続いており、秋祭運動会と行楽のシーズンを迎えて需要増が期待される。

鶏肉…若鶏は月間を通じて相場の変動が全くなく、中びなkg200円がらみで、入荷は平年なみである。親鶏の相場も大きな変動は見られなかったが、10月の需要増から強気配に転じよう。